

三条商工会議所景況調査概況

【令和7年10月～12月期】

日本商工会議所が全国の商工会議所ネットワークを活用して、各地域での「肌で感じる景況感」（早期景気観測調査＜LOBO調査＞）を毎月集計した令和7年12月の結果と、三条商工会議所で3ヶ月毎に会員事業所にアンケート調査を行った最近の業況をまとめた資料です。

- 調査対象：＜全国＞全国324商工会議所が2,449企業にヒアリング。回答数1,976件
＜三条地域＞会議所会員事業所400社を対象にアンケート調査。回答数217件
- DI値＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）
従業員DIは（不足とする回答割合）－（過剰とする回答割合）

【全国の業況】

12月の全産業合計の業況DIは、▲18.0（前月比▲0.1ポイント）

建設業では、公共工事や設備投資が堅調で改善した。卸売業では、生鮮品の価格高騰に落ち着きがみられたことなどから食料品関係を中心に改善した。小売業では、価格転嫁が進展し、改善した。一方、サービス業では、一部地域の旅館や観光施設で団体客数が減少しており、悪化した。また、製造業では、原材料価格の上昇が続く飲食料品関係で採算が悪化したほか、住宅関連工事の減少を受けた木材製品製造業で引き合いが減少し、悪化した。

冬季賞与の支給効果もあって消費マインドは持ち直しつつあるが、コスト増による採算悪化や物価高に伴う節約志向は継続しており、業況はほぼ横ばいとなった。

先行き見通しDIは、▲17.8（今月比+0.2ポイント）

高水準での賃上げが下支えとなる中、政府のガソリン・軽油の値下げ、電気・ガス代支援をはじめとする物価高対策への期待もあり、消費マインドは回復傾向が見込まれる。

一方、円安伸長等による仕入価格の上昇や最低賃金の引き上げを含む労務費上昇など、コスト増加分の価格転嫁や人手不足等、依然として経営課題は山積しており、先行きは慎重な見方が続く結果となった。

全国の12月産業別業況

【建設業】

「売上は増加しているが、労務費上昇分に見合うほどではなく、自社の利益を切り崩しての賃上げとなってしまっている」（舗装工事業）、「青森県東方沖で発生した大きい地震の影響で耐震に対する意識が一段と高まっており、今後の耐震補強工事の需要増が見込まれる。政府や自治体の補助金等の支援による後押しを期待している」（一般工事業）

【製造業】

「全国的に住宅着工件数が激減している。少子化という構造的な問題に加え、近年の建設コストの急上昇の影響で物件価格が高騰しており、持ち家を検討する人が減ったのが原因である」（木材製品製造業）、「円安が続いているため、仕入価格は高止まりし続けており、賃上げの原資である自社の収益を圧迫し続けている」（繊維機械製造業）

【卸売業】

「夏場から全体的に高値が続いている青果市況に落ち着きがみられている。様々な食料品の価格が高騰し続ける中、国内産の生鮮品が安価になることはとても嬉しいことであり、当社が運営している飲食店においても利益率が改善している」（食料・飲料卸売業）、「当社の部品の納入先である自動車関連業では、中国経済の減速を受け、先行き不透明な状況が続く見込みである」（一般機械器具卸売業）

【小売業】

「お歳暮ギフト商戦の恩恵を受けているが、前年と比べると1割ほど受注が減少している。お歳暮を贈る世代が高齢化していることを踏まえ、自宅用の商品を拡充したものの、物価高による買い控えもあってか補填にはなっていない」(百貨店)、「消費者の節約志向は高まっているものの、原材料費や物流費の上昇分について価格転嫁が進み、採算は持ち直している」(化粧品小売業)

【サービス業】

「忘年会の予約は出足も早く、堅調に推移している。昨年に比べ、大人数での宴会が増えている印象」(飲食店)、「中国からの団体客が緩やかに減っている。先行きの影響も不透明であるため、当店を訪れる外国人の国別比率の分散を検討するなど、対策を考えていきたい」(旅館)

【令和7年10月～12月期の三条地域の業況】

(※三条地域の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。)

<https://www.sanjo-cci.or.jp>

当地域の全業種合計の業況DIは、令和6年度第3四半期(R6年10～12月)比(以後、前年同期比という)では▲21(前期差1ポイント減)となった。業種別では、建設業が▲24(前期差4ポイント増)、製造業が▲16(前期差4ポイント増)、卸売業が▲24(前期差4ポイント増)、小売業が▲40(前期差26ポイント減)、サービス業が▲13(前期差10ポイント減)となった。前回調査に比べ、建設業、製造業、卸売業はDI値が増加、小売業、サービス業はDI値が減少で推移した。

三条地域の業種別概況

【建設業】

建設業では、前年同期比の業況DIは▲24(前期差4ポイント増)、採算DIは▲10(前期差6ポイント増)、売上額DIは▲14(前期差1ポイント減)、従業員DIは±0(前期差±0ポイント)となり、従業員DIは横ばい。業況DI、採算DIは増加したが、売上額DIは減少で推移した。

【製造業】

製造業では、前年同期比の業況DIは▲16(前期差4ポイント増)、採算DIは▲5(前期差8ポイント増)、売上額DIは▲12(前期差4ポイント減)、従業員DIは▲11(前期差7ポイント減)となり、業況DI、採算DIは増加したが、売上額DI、従業員DIは減少で推移した。

【卸売業】

卸売業では、前年同期比の業況DIは▲24(前期差4ポイント増)、採算DIは▲16(前期差13ポイント減)、売上額DIは▲11(前期差10ポイント増)、従業員DIは+17(前期差1ポイント減)となり、業況DI、売上額DIは増加したが、採算DI、従業員DIは減少で推移した。

【小売業】

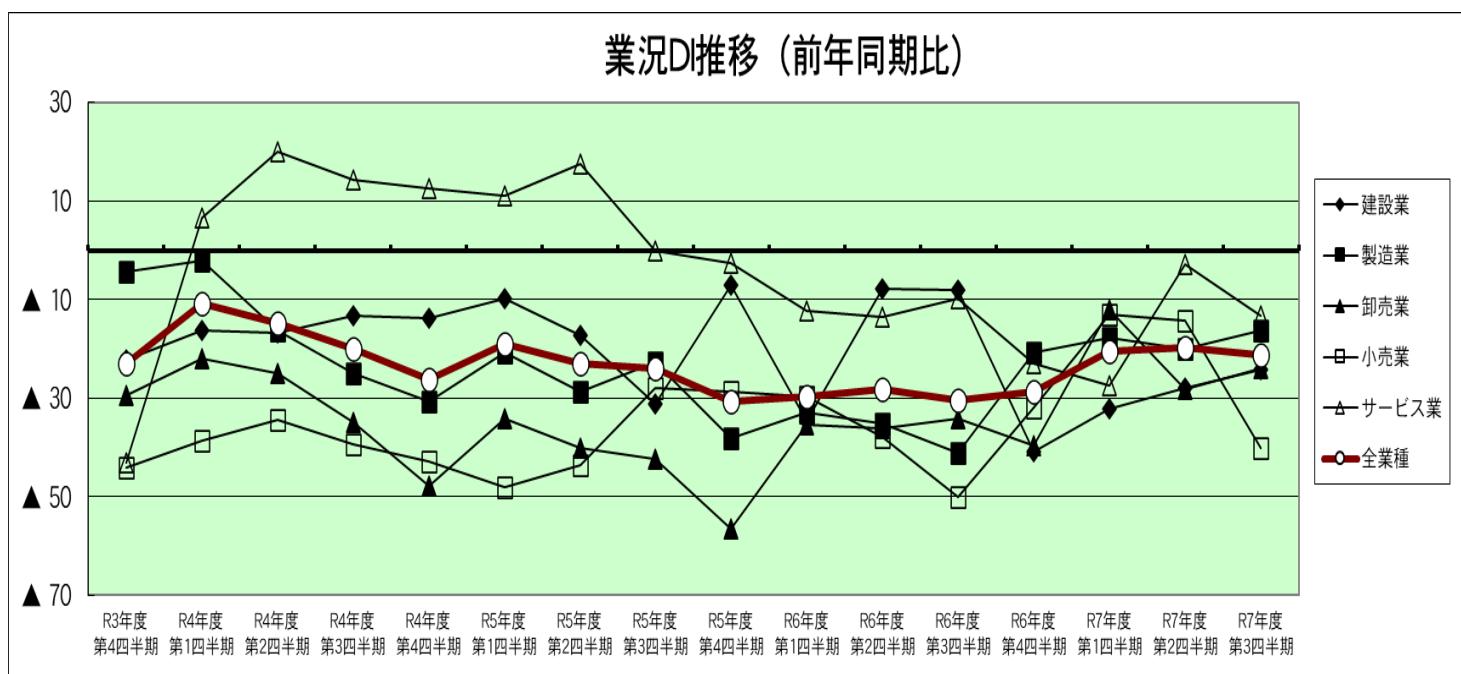
小売業では、前年同期比の業況DIは▲40(前期差26ポイント減)、採算DIは▲16(前期差2ポイント増)、売上額DIは▲24(前期差15ポイント減)、従業員DIは+16(前期差16ポイント増)となり、採算DI、従業員DIは増加したが、業況DI、売上額DIは減少で推移した。

【サービス業】

サービス業では、前年同期比の業況DIは▲13(前期差10ポイント減)、採算DIは▲11(前期差19ポイント増)、売上額DIは▲3(前期差11ポイント増)、従業員DIは▲8(前期差8ポイント減)となり、採算DI、売上額DIは増加したが、業況DI、従業員DIは減少で推移した。

三条地域の業況 DI(前年同期比)の推移 ※DI 値=「良いとする回答割合」-「悪いとする回答割合」

	R3 年度	R4 年度				R5 年度		
	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期
全業種	▲ 23	▲ 11	▲ 15	▲ 20	▲ 26	▲ 19	▲ 23	▲ 24
建設業	▲ 22	▲ 16	▲ 17	▲ 13	▲ 14	▲ 10	▲ 17	▲ 31
製造業	▲ 4	▲ 2	▲ 16	▲ 25	▲ 31	▲ 21	▲ 29	▲ 23
卸売業	▲ 29	▲ 22	▲ 25	▲ 35	▲ 48	▲ 34	▲ 40	▲ 42
小売業	▲ 44	▲ 39	▲ 34	▲ 39	▲ 43	▲ 48	▲ 43	▲ 28
サービス業	▲ 43	7	20	14	13	11	18	0
	R5 年度	R6 年度				R7 年度		
	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期
全業種	▲ 31	▲ 30	▲ 28	▲ 30	▲ 29	▲ 21	▲ 20	▲ 21
建設業	▲ 7	▲ 35	▲ 8	▲ 8	▲ 41	▲ 32	▲ 28	▲ 24
製造業	▲ 38	▲ 33	▲ 35	▲ 41	▲ 21	▲ 18	▲ 20	▲ 16
卸売業	▲ 57	▲ 35	▲ 36	▲ 34	▲ 40	▲ 12	▲ 28	▲ 24
小売業	▲ 29	▲ 30	▲ 38	▲ 50	▲ 32	▲ 13	▲ 14	▲ 40
サービス業	▲ 3	▲ 12	▲ 14	▲ 10	▲ 23	▲ 28	▲ 3	▲ 13

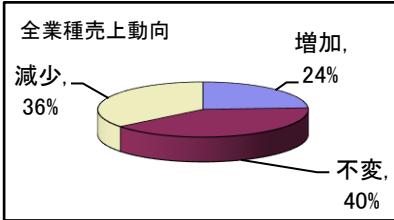


令和7年度 第3四半期(2025年10月～12月)

※四捨五入の関係上百分率の合計が合わないことがあります。

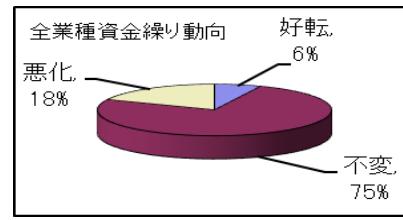
業種別売上動向(前年同期比)

業種		増加	不变	減少
全業種	件数	54	90	80
	%	24%	40%	36%
建設業	件数	7	11	11
	%	24%	38%	38%
製造業	件数	20	36	30
	%	23%	42%	35%
卸売業	件数	11	18	16
	%	24%	40%	36%
小売業	件数	5	9	11
	%	20%	36%	44%
サービス業	件数	11	16	12
	%	28%	41%	31%



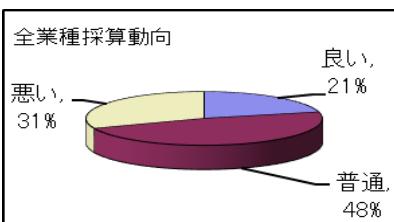
業種別資金繰り動向(前年同期比)

業種		好転	不变	悪化
全業種	件数	14	163	40
	%	6%	75%	18%
建設業	件数	1	24	4
	%	3%	83%	14%
製造業	件数	6	65	15
	%	7%	76%	17%
卸売業	件数	3	30	7
	%	8%	75%	18%
小売業	件数	2	15	8
	%	8%	60%	32%
サービス業	件数	2	29	6
	%	5%	78%	16%



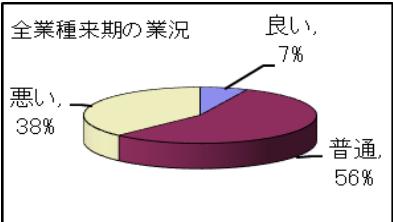
業種別採算動向(前年同期比)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	47	106	69
	%	21%	48%	31%
建設業	件数	5	16	8
	%	17%	55%	28%
製造業	件数	19	43	23
	%	22%	51%	27%
卸売業	件数	10	18	17
	%	22%	40%	38%
小売業	件数	5	11	9
	%	20%	44%	36%
サービス業	件数	8	18	12
	%	21%	47%	32%



業種別来期(2026.1～3月)の業況(今期比の見通し)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	13	109	74
	%	7%	56%	38%
建設業	件数	0	13	11
	%	0%	54%	46%
製造業	件数	9	41	23
	%	12%	56%	32%
卸売業	件数	2	30	18
	%	4%	60%	36%
小売業	件数	0	9	8
	%	0%	53%	47%
サービス業	件数	2	16	14
	%	6%	50%	44%



日本商工会議所の全国の業況、三条地域の業況の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。
<https://www.sanjo-cci.or.jp>